

## 第4回番組審議会議事

1 開催年月日 令和6年9月26日(木)

2 開催場所 トモルテたわらもと2階  
田原本町こどもはぐくみ・交流センター フリースペース

3 委員の出席

委員総数 9名  
出席委員 7名

出席委員の氏名(五十音順)

小澤由美子、坂本奈保子、西和弘、濱田昂志、林幸子、藤本勇樹、  
渡辺一城

放送事業者側(以下、「局側」とする。)の出席者氏名

- ・代表理事 阪本敬尚
- ・FM事業部 市原剛

4 議事

番組審議・質疑応答

5 その他

(1) FMまほろばからの報告

10月改編について

(2) 次回以降の予定日の確認

(3) 8月8日日向灘沖地震発生による南海トラフ地震臨時情報が発表されたこと  
について,

## 5 審議内容

番組審議・質疑応答

審議番組

「週のはじめの実験室」令和6年8月26日放送分

番組情報：毎週月曜日：18時40分～20時00分

- 委 員 メンバー3人仲が良すぎるために、音楽の流れている時のオフトークのまま音楽後もトークが続いている方は分かりずらかった。もう一度最初からオフトークの話をしても良かったのでは。コーナーのBGMで話とは関係のない沖縄の音楽を選んだのか。違和感があった。
- 委 員 BGMは、何故そのチョイスになったかの話があればわかりやすかつたのかもしれない。
- 委 員 特に最初の方で1人の声が聞こえにくい。「週の初めの実験室」のコンセプトを簡単に説明する時間があった方が良いのでは？ 初めて聞く人には研究員などの設定がよくわからないと思う。
- 局 側 声の調整は今後気を付けていく。コンセプトについてはメンバーに話をして番組冒頭にコメントを入れるように進めていく。
- 委 員 最初の天気、防災の話の時に思い付きで確実性に欠ける専門的な話をしているように思う。事前の打ち合わせで確認はしているのか。
- 局 側 事前の打ち合わせで出来るだけ話す内容は極力確認しているが、突発的に話すことについては出来るだけ直後に確認はして修正が必要なら番組内で訂正のコメントを入れるようにしている。放送後にも判明したら次週や早いうちに訂正の対処はしている。
- 委 員 今回はながら聴きをしてどれだけ残るかを言葉が残るかやってみたけど残らなかった。面白いフレーズや考え方がなかった。何を伝えようとしているのかが分かれば良かった。運営側が夜の月、金曜の時間枠の出演者にどういうことを発信してほしいか、を伝えているか好きないようにやって、と言っているかによって今後リスナーの増減が決まるのではないか。番組冒頭にでも3人の関係性について簡潔に紹介してみてはどうか。
- 局 側 リスナーに分かりやすいように進めていく。

委 員	コーナーが色々あるので飽きない。独立しているので良い。仲が良いのが良かった。いきなり歌い始めたのはびっくりしたが歌もうまかった。防災防犯も台風が近かったのでタイムリーで聞いてる方も役に立っている。実験室の意味をもっと伝えられたら良いと思う。
委 員	実験室の意味、3人の属性の紹介があった方が良い。生の歌は良いと思う。曲はリクエストであったにせよ選曲は良かった。映画のコーナーで内容に沿っての選曲が出来たのではないか。直接の曲でなくともまつわる曲があったのでは。BGMとコーナーとがつながっていない。スポーツについて、障害者スポーツも自分が関わってきたので興味を持って聞けた。
局 側	もっと属性を紹介できるように進めていく。選曲についてもその時のリクエストにもよるが内容に近づけるようにしていく。
委 員	この番組タイトルでなぜこのトーク内容なのかなと思って入り込めなかった。民謡の歌いだしの時にいきなり音量が上がってビックリしたところがあった。
委 員	作り手と伝え手の意思の疎通がうまくいってないのではないか。番組タイトルからして伝えたいことを伝えられていないよう思う。なので聞いてる方は不安に思う。天気でも映画でもニュースでも曲には繋がっていないよう思う。実験室の意味、思いの解説を番組内で紹介してみてはどうか。
局 側	もっと番組のコンセプトを前面に出し、何故この出演者なのか、実験室の言葉の意味を伝えていくように進めていきます。今回のご意見を受け止めて、番組がより良くなるように取り入れてまいります。

## 5 その他

### (1) FMまほろばからの報告

10月改編について、新番組の内容を紹介。

### (2) 次回以降の予定日の確認

2024年11月28日木曜日15時30分～、本日と同じ場所で行うことを確認。

審議番組については後日決定し、委員に通知する。

### (3) 8月8日日向灘沖地震発生による南海トラフ地震臨時情報が発表されたことについて、

南海トラフ地震への関心を高めると共に、より防災・減災について取り組みを強化していくことを確認する。

以上